

医学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<p>I. 診療技能・患者ケア, 医学的知識 科学的根拠に基づいた医療・医学研究を行うための基礎、臨床の医学的知識を有し、体系的に理解し説明できる。それを応用し、基本的な診察・手技を適切に実践できる。</p> <p>II. 医療安全 医療安全の重要性を理解し、適切に実践できる。感染予防対策の適切な方法・プロセス、問題を起こしやすい状況とその対応を理解し実践できる。</p> <p>III. チーム医療, コミュニケーション チーム医療や患者の抱える問題を理解し、医療チームの一員として適切に多職種と連携することができる。他者と信頼関係を構築ことができ、良好なコミュニケーションがとれる。</p> <p>IV. 医療の社会性 行動科学、社会医学、地域医療のシステム、プライマリ・ケアを理解したうえで、患者・国民のニーズを認識し、必要な医療と医療制度を概説できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 TOEFL 成績 リメディアル教育 	<ul style="list-style-type: none"> 各学修段階でのコンピテンシー 達成度評価 GPA 定期試験 追・再試験 単位認定 進級率 休学率 退学率 OSCE CBT mini-CEX 実習評価(ルーブリック、360度評価等) TOEFL 成績 学修履歴(ポートフォリオ) 授業評価アンケート プログラム評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験 Post Clinical Clerkship OSCE 医師国家試験合格率 コンピテンシーによる評価

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
授業レベル	<p>V. 倫理とプロフェッショナリズム 医の倫理・生命倫理、患者の権利・立場と心理を理解し、高い倫理観・適正な態度を身につけている。倫理・法律に反しない行動ができ、医療人・研究者としての責任感をもって行動できる。</p> <p>VI. 自立的学習能力，順天堂大学医学部で学んだ者としての誇りと責任 順天堂大学で学んだ者として、生涯にわたってアクティブに自分の目標に向けた学習をする不断前進の態度・習慣を身につけ、医の歴史や健康に与える運動の影響を理解し、他を思いやり慈しむ心（学是「仁」）を持った行動ができる。 グローバル化する国際社会において医学・医療の分野で国際的に活躍できる語学力、医療能力、未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養を有している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験 ・TOEFL 成績 ・アセスメント・テスト（学修到達度調査） ・リメディアル教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・追・再試験 ・単位認定 ・レポート評価（ルーブリック等） ・実習評価（ルーブリック等） ・小テスト ・TOEFL 成績 ・授業評価アンケート 	

スポーツ健康科学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<p><スポーツ健康科学部></p> <p>DP1：スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養</p> <p>DP2：スポーツ又は健康に関わる分野で指導的な役割を果たすための高い倫理観</p> <p>DP3：グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 TOEFL 成績 入学前教育プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> GPA 休学率 退学率 TOEFL 成績 学修履歴（ポートフォリオ） リメディアル教育（学修支援）参加率 授業評価アンケート キャリア支援プログラム受講者数・参加率 カリキュラム評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 就職率・進学率 教員採用試験受験者数・合格者数 各種資格取得者数・受験資格取得者数 学位授与数・率
授業レベル	<p>DP4：社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 TOEFL 成績 導入科目 	<ul style="list-style-type: none"> 単位認定 定期試験 レポート評価（ループリック） 小テスト TOEFL 成績 授業評価アンケート 	/

医療看護学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<p>DP1: 豊かな感性、教養及び高い倫理観を備え、他を思いやり、慈しむことのできる能力</p> <p>DP2: 個人、家族及び地域社会の人々それぞれの健康レベルに応じて知識・技術を駆使し、エビデンスに基づいた看護を実践できる能力</p> <p>DP3: 関連分野の人々と協働して、看護職者の役割を果たしていくために必要な人間関係を構築できる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 TOEFL 成績 入学前課題 リメディアル教育 	<ul style="list-style-type: none"> コンピテンシー評価 進級率 休学率 退学率 GPA 実習評価（ルーブリック等） 新学期実力テスト TOEFL 成績 授業評価アンケート 基本看護技術チェックリスト カリキュラム評価 学生カリキュラム検討会 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験 学位授与（卒業）率 国家試験合格率 就職率・進学率 カリキュラム評価 コンピテンシー評価
授業レベル	<p>DP4: グローバリゼーションが進む現代社会に柔軟に対応でき、多様な価値観を理解し、適切な判断と問題解決ができる能力</p> <p>DP5: 自己の知識、技術、態度を自ら評価し、他者からの評価も謙虚に受けとめ、探求心を持って自己研鑽できる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 TOEFL 成績 入学前課題 アセスメント・テスト（実力検定試験） リメディアル教育 	<ul style="list-style-type: none"> 単位認定 定期試験 レポート評価（ルーブリック等） 小テスト 新学期実力テスト 実習評価（ルーブリック等） 実技試験/技術試験（OSCE 等） プレゼンテーション TOEFL 成績 授業評価アンケート 基本看護技術チェックリスト ポートフォリオ 	

保健看護学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	DP1:他への思いやり、慈しむ心、豊かな教養、高い倫理観を備え、良好な人間関係を築くことができる能力 DP2:看護を必要としている人々に対して、科学的根拠に基づき看護を実践できる能力 DP3:保健医療福祉における看護職者の専門性を自覚し、多職種との連携、協働できる能力 DP4:進歩・変化の著しい保健医療福祉分野を総合的に理解し、創意工夫して課題解決するために、情報通信技術（ICT）を用いて情報を利活用する能力	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 語学試験（英検、GTEC 等）成績 リメディアル教育 TOEFL 成績 	<ul style="list-style-type: none"> コンピテンシーによる評価 学修ポートフォリオ GPA 進級率 休学率 退学率 基礎学力テスト 模擬試験 実習評価（ルーブリック等） OSCE TOEFL 成績 授業評価アンケート 学生実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験 模擬試験 コンピテンシーによる評価 学修ポートフォリオ 教育プログラムに対する満足度評価 就職率／進学率 卒業率 国家試験（看護師・保健師）合格率
授業レベル	DP5:グローバル化する看護職者の活動の場で役割を担うために、国際的視野を持ち、異文化を理解する能力 DP6:看護への関心を深め、探究心を持って研究に取り組むことができる能力 DP7:自らの健康維持増進に留意して能動的に学び続けることができる能力	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 リメディアル教育 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校推薦型、総合型／帰国生 選抜入試対象者通信講座（化学・生物・物理・文章作成） ② 入学予定者対象講義（化学・生物・物理） 基礎学力テスト TOEFL 成績 	<ul style="list-style-type: none"> 単位認定 定期試験 レポート評価（ルーブリック等） 小テスト 実習評価（ルーブリック等） 授業評価アンケート リアクションペーパー TOEFL 成績 基礎学力テスト 2～4 年生 学内演習による技術評価 臨床看護技術経験録 	

国際教養学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	DP1：幅広い国際教養に関する知識の修得とそれらの統合・活用能力 DP2：異文化・多様性の理解に基づく多文化共生能力	<ul style="list-style-type: none"> ・選抜機能評価（各種入学試験とその後の GPA/単位取得状況/留年・中退状況との関係） 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の取得状況 ・GPA 分布状況 ・留学者数 ・留年率 ・休学率 ・退学率 ・TOEFL-ITP の達成率 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・就職率 ・進学率（大学院進学） ・教員採用試験合格者数 ・卒業時アンケート（インタビュー） ・卒業生アンケート ・進路先による評価
授業レベル	DP3：母語及び外国語によるコミュニケーション能力 DP4：専門性を備えた教養人としての問題発見・解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語プレイスメントテスト（TOEFL-ITP） 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・成績分布状況 ・学生による授業評価アンケート 	

保健医療学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<p><保健医療学部共通></p> <p>DP1：人間尊重の理念と高い倫理観、豊かな人間性、人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解、社会に貢献できる能力</p> <p>DP2：医学・医療に係る基本的知識、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識、実践能力を発揮することができる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 TOEFL 成績 	<ul style="list-style-type: none"> 進級率 休学率 退学率 OSCE 実習評価（ルーブリック等） TOEFL 成績 GPA 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験 卒業論文 国家試験合格率 就職率 進学率
授業レベル	<p>DP3：自己の専門分野に対する向上心と研究心、自己研鑽、自己成長していく能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 TOEFL 成績 	<ul style="list-style-type: none"> 単位認定 定期試験 レポート評価（ルーブリック等） 小テスト 実習評価（ルーブリック等） TOEFL 成績 授業評価アンケート 	/

医療科学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<p><医療科学部共通></p> <p>DP1：人間尊重の理念と高い倫理観、豊かな人間性、人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解、社会に貢献できる能力</p> <p>DP2：患者や他の医療職者に対して適切にコミュニケーションできる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 TOEFL 成績 	<ul style="list-style-type: none"> 進級率 休学率 退学率 TOEFL 成績 GPA OSCE 実習評価 国家試験模擬試験 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文 卒業試験 国家試験合格率 就職率、進学率 卒業時アンケート調査
授業レベル	<p>DP3：医学・医療に係る基本的知識、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識、実践能力を発揮することができる能力</p> <p>DP4：自己の専門分野に対する向上心と研究心、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 TOEFL 成績によるクラス分け 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト レポート評価(ルーブリック等) TOEFL 成績 実習後の実習報告会 実習評価 定期試験 単位認定 授業評価アンケート 	/

健康データサイエンス学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<p><健康データサイエンス学部></p> <p>DP1：豊かな人間性と高い倫理観、グローバル社会におけるコミュニケーション能力や国際性を備え、社会に貢献できる能力</p> <p>DP2：データサイエンスに関する専門知識と技術および健康・医療・スポーツ領域を理解するための基本的な知識</p> <p>DP3：健康・医療・スポーツ領域における課題解決の方策を考案・提言し、新たな価値やサービスを生み出すことができる実践能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書の記載事項 TOEFL 成績 基礎学力確認テスト (数学、日本語(外国人留学生)) 	<ul style="list-style-type: none"> 進級率 休学率 退学率 TOEFL 成績 GPA 授業評価アンケート デジタル系資格受検 (ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者、等) 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文 卒業試験 就職率 大学院進学率 (修士課程) 卒業時アンケート調査
授業レベル	<p>DP4：健康・医療・スポーツ領域の課題に対応することができるプレゼンテーション能力</p> <p>DP5：生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 TOEFL 成績によるクラス分け 基礎学力確認テスト (数学、日本語) リメディアル教育 日本語基礎教育 (外国人留学生) 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト レポート評価 (ルーブリック等) TOEFL 成績 インターンシップ後の報告会 企業インターンシップ評価 定期試験 単位認定 授業評価アンケート 検定試験合格者表彰 	

薬学部のアセスメント・プラン

学生の学修成果について、教育プログラムレベル、授業レベルにおいて、次のような指標により、総合的評価を行う。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
教育プログラムレベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人として豊かな人間性と高い責任感と倫理観を持ち、生涯に渡りアクティブに自分の目標に向けた学習をするための不断前進の態度・習慣を身につけ、他を思いやり慈しむ心（学是「仁」）を持った行動ができる。 2. 幅広い教養とグローバル化に対応できる国際感覚を持ち、他者と信頼関係を構築することができ、良好なコミュニケーションがとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種入学試験 ・ 調査書の記載事項 ・ TOEFL 成績 ・ プレイスメントテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GPA ・ 進級率 ・ 休学率 ・ 退学率 ・ OSCE ・ CBT ・ 実務実習評価（ルーブリック等） ・ TOEFL 成績 ・ 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業試験 ・ 卒業論文 ・ 国家試験合格率 ・ 就職率 ・ 進学率 ・ 卒業生調査（1年後）
授業レベル	<ol style="list-style-type: none"> 3. 薬学の社会的位置づけを理解し、社会医学、地域包括ケアシステム、プライマリ・ケアを理解したうえで、地域医療と健康・福祉に果たすべき薬学専門職の役割を担うことができる。 4. 科学的根拠に基づいた医療・薬学研究を行うための基礎、臨床の薬学的知識を有し、体系的に理解し説明でき、問題解決のために論理的に思考できる。 5. 薬学専門職として、適切に多職種と連携協働することができ、主体的かつ協調性を持って問題解決を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種入学試験 ・ TOEFL 成績 ・ プレイスメントテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 追・再試験 ・ 単位認定 ・ レポート評価（ルーブリック等） ・ 小テスト ・ 実務実習評価（ルーブリック等） ・ TOEFL 成績 ・ 学習履歴（ポートフォリオ） ・ 授業評価アンケート 	